

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)じゃんぼスクエア熊取新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府泉南郡熊取町紺屋1丁目54-2他26筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2015年2月5日
敷地面積	13,786 m ²	作成者	岩田地崎建設株式会社 一級建築士事務所 那須豊治
建築面積	5,083 m ²	確認日	2015年2月5日
延床面積	9,917 m ²	確認者	岩田地崎建設株式会社 一級建築士事務所 那須豊治



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

★★★★★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	19%
③上記+②以外の	19%
④上記+	19%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.4
耐用性	2.9
対応性	3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	5.0
地域環境	2.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
ほぼ全面にF☆☆☆☆を使用 館内禁煙	階高が5m、売り場の天井高3.5m、壁長さ比率が0.04と空間にゆとりを持たせている。	敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりをしている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
店舗の設備が未決定	節水コマ・節水型便器採用	適切な駐輪・駐車場の確保。導入路の配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)じゃんぼスクエア熊取新築工事	
		建設地	大阪府泉南郡熊取町紺屋1丁目54-2他26筆	
		用途/区分	物販店	
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			5
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
			エネルギー消費量の報告	報告しない

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		5.0	5
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	4	
			住戸・宿泊		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.6
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		2.0		
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					